



TAKAMIYA

2026年3月期第2四半期（中間期）決算説明資料

株式会社タカミヤ
〒530-0011
大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階

アジェンダ

- トピックス
- 2026年3月期第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想の修正
- 連結業績の説明
- セグメント情報
- 進行期および今後の見通し
- 株式情報
- 参考資料

トピックス

2025年9月19日

- ・執行役員の異動に関するお知らせ

2025年10月30日

- ・2026年3月期第2四半期(中間期)及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

上記の他、各種リリース。IR情報は弊社ホームページからご覧いただけます。<https://corp.takamiya.co/>

2026年3月期第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想の修正

2026年3月期第2四半期（中間期）および通期連結業績予想の修正

業績予想の修正サマリー

上半期は当初予想を上回り推移、下半期業績予想は策定当初のままで据え置き、上半期上振れ金額を通期業績予想に反映

	第2四半期 中間期				通期 ※上半期（中間期）修正予想+下半期当初予想			
	修正予想	修正前予想	増減	増減率	修正予想	修正前予想	増減	増減率
売上高	21,283	22,500	▲1,267	▲5.6%	48,133	49,400	▲1,267	▲2.6%
営業利益	1,109	470	639	136.0%	2,939	2,300	639	27.8%
経常利益	955	190	765	402.6%	2,415	1,650	765	46.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	577	70	507	724.3%	1,507	1,000	507	50.7%
1株当たり当期純利益	12.60	1.53	-	-	32.91	21.85	-	-

※単位は百万円

2026年3月期第2四半期（中間期）および通期連結業績予想の修正

中間期業績予想の修正概要

中間期の業績予想に関しては、リカーリング収益の増加や価格改定、生産性向上の効果により当初予想を上回り堅調に推移

	第2四半期 中間期			
	修正予想	修正前予想	増減	増減率
売上高	21,283	22,500	▲1,267	▲5.6%
営業利益	1,109	470	639	136.0%
経常利益	955	190	765	402.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	577	70	507	724.3%
1株当たり当期純利益	12.60	1.53	-	-

売上高および営業利益増減要因

- ◆ 「OPE-MANE」のユーザーメリットが浸透に伴い、既存ユーザーが利用を拡大し、リカーリング収益は予想を上回り推移
- ◆ 「OPE-MANE」の収益基盤が強固になったことを背景に、レンタルサービスにおける価格改善が図られ、着工延期等により貸出量及び労務売上が予想を下回りましたが、価格改定が進行し、レンタル価格水準の引き上げ及び利益率向上

売上高増減要因

- ◆ レンタル傾向が強い市場環境で販売高が予想を下回った

営業利益増減要因

- ◆ 一部で大型現場における顧客の賃貸資産買取が寄与した
- ◆ プラットフォーム基盤の構築に向けてM&Aを含めた先行投資を実施した結果、減価償却費及びのれんの償却費が増加したが、DXをはじめとした各種投資の効果が実現し始め、生産性が向上し、人件費をはじめとした諸経費を抑制

※単位は百万円

2026年3月期第2四半期（中間期）および通期連結業績予想の修正

通期業績予想の修正概要

下半期は当初の予想通りに推移すると見込み、予想を据置、上半期の上振れ金額を反映した通期業績予想に修正

	通期			
	修正予想	修正前予想	増減	増減率
売上高	48,133	49,400	▲1,267	▲2.6%
営業利益	2,939	2,300	639	27.8%
経常利益	2,415	1,650	765	46.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,507	1,000	507	50.7%
1株当たり当期純利益	32.91	21.85	-	-

通期連結業績予想について

考え方：通期連結業績予想＝上半期（中間期）修正予想＋下半期当初予想

- ◆ プラットフォーム事業は引き続き堅調に推移
- ◆ 販売事業はトレンド通りに期末に購入が進むことが予想される
- ◆ レンタル事業は、社外出荷量が当初の予想を下回り推移することが見込まれるが、価格改定効果が継続することから、予想を据置

各事業において、下半期は当初予想通りに推移すると見込んでいるため、修正後の通期業績予想は下半期予想を据置、上半期の上振れ分を反映。

※単位は百万円

2026年3月期第2四半期（中間）連結業績の説明

1. 連結業績 累計期間（2025年4月-2025年9月）

1.1 連結業績サマリー

プラットフォーム事業の伸長により、売上総利益率は改善傾向、DXをはじめとした業務効率化も進行し、営業利益率も改善

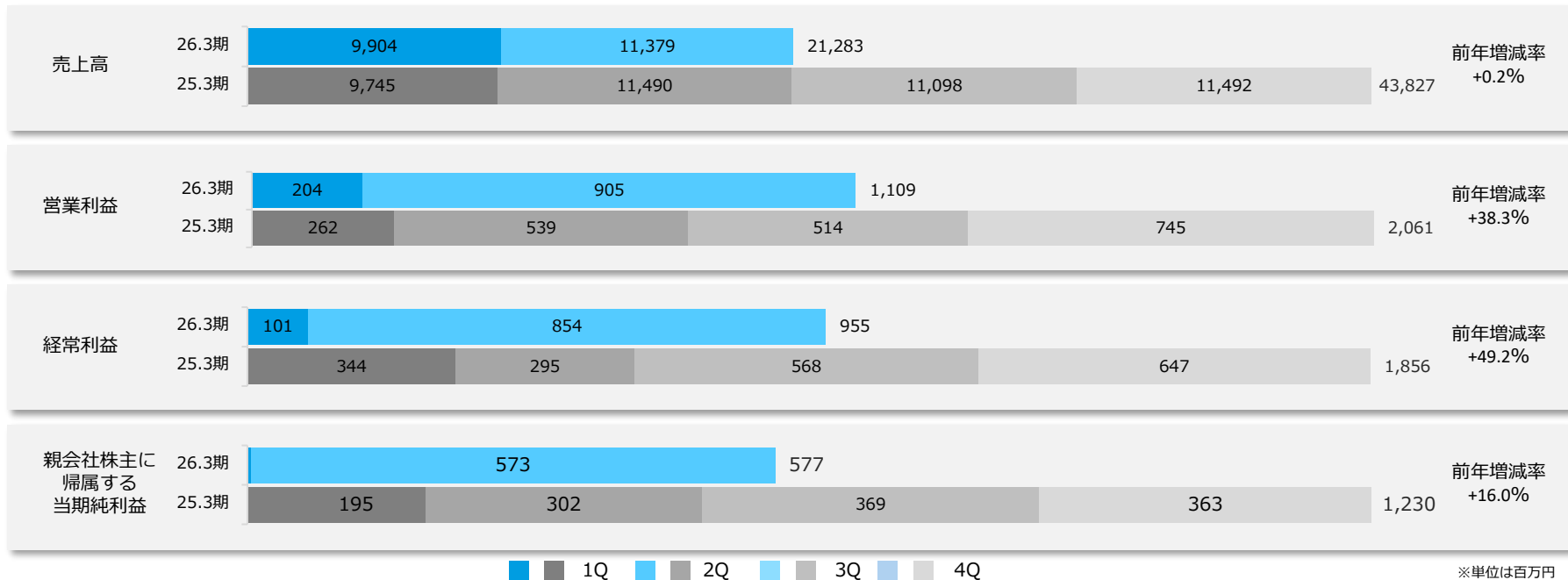
	期初発表予想	修正発表予想	2026年3月期 2Q 実績	(参考)2025年3月期 2Q 実績	前年同期比較 増減額・pt	対前年増減率
売上高	22,550	21,283	21,283	21,236	+47	+0.2%
売上総利益	-	-	7,269	6,834	+434	+6.4%
売上総利益率	-	-	34.1%	32.1%	+1.9pt	-
EBITDA	-	-	4,041	3,604	+436	+12.1%
営業利益	470	1,109	1,109	802	+306	+38.3%
営業利益率	2.0%	5.2%	5.2%	3.7%	+1.4pt	-
経常利益	190	955	955	640	+315	+49.2%
経常利益率	0.8%	4.4%	4.4%	3.0%	+1.4pt	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	70	577	577	498	+79	+16.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益率	0.3%	2.7%	2.7%	2.3%	+0.3pt	-
1株当たり中間純利益 (潜在株式調整後)	1.53円	12.60円	12.62円 (12.12円)	10.70円 (10.29円)	-	-

※単位は百万円

1. 連結業績 累計期間（2025年4月-2025年9月）

1.2 各段階利益の前年同期比較

各段階利益で前年同期を上回り、利益面においては大幅に伸長

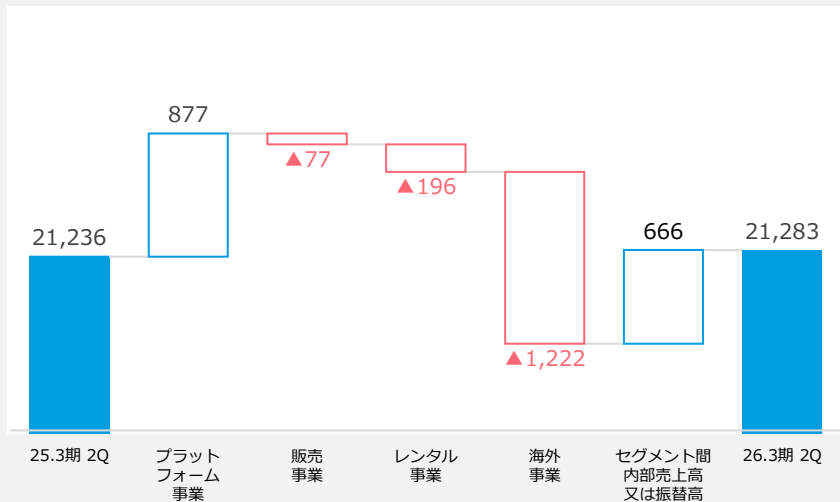


1. 連結業績 累計期間（2025年4月-2025年9月）

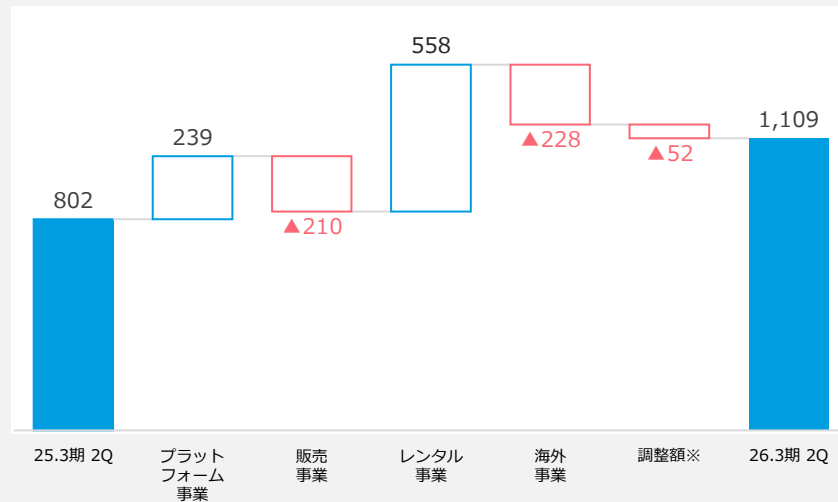
1.3 連結業績の前年同期比較

新設された事業セグメントであるプラットフォーム事業が増収増益、レンタル単価の改定効果によりレンタル事業は大幅増益

売上高 + 47 百万円（前年同期比 +0.2%）



営業利益 +306 百万円（前年同期比 +38.2%）



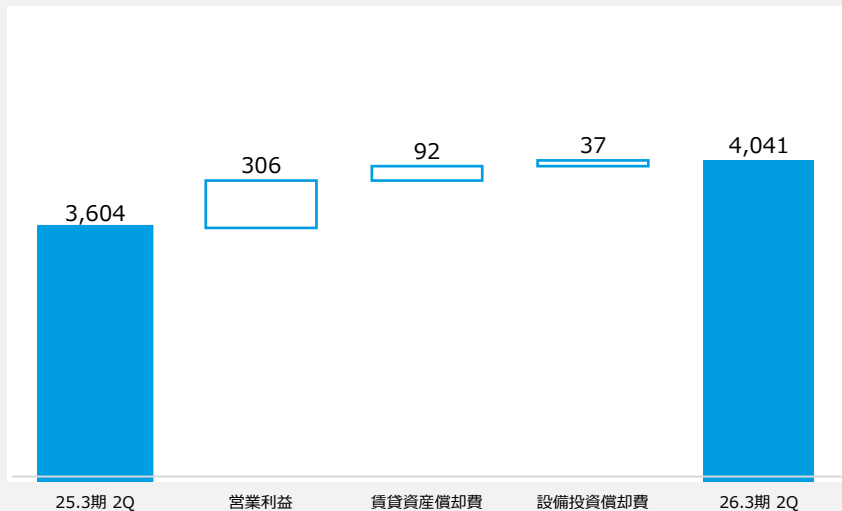
※調整額はセグメント間取引消去、各セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）が含まれる ※単位は百万円

1. 連結業績 累計期間（2025年4月-2025年9月）

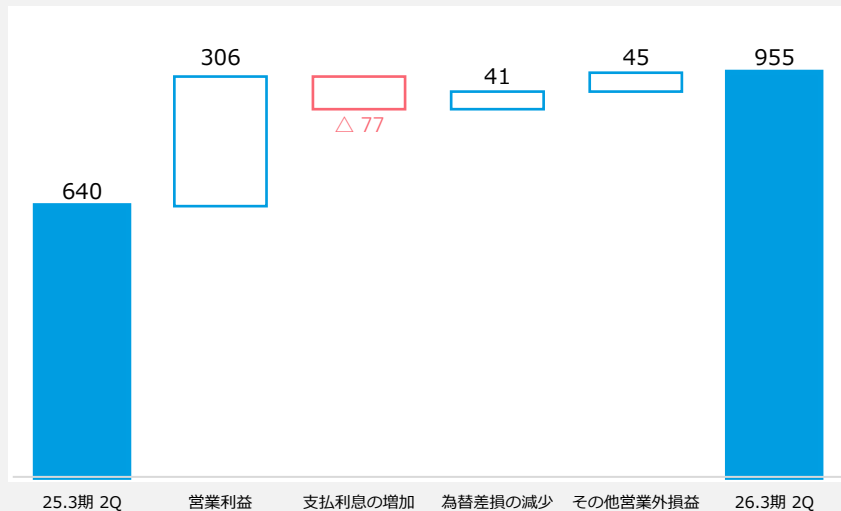
1.4 連結業績の前年同期比較

EBITDAは前年を上回る水準となり、投資回収は進み、収益力は向上

EBITDA + 437 百万円（前年同期比 +12.1%）



経常利益 +315 百万円（前年同期比 +49.2%）



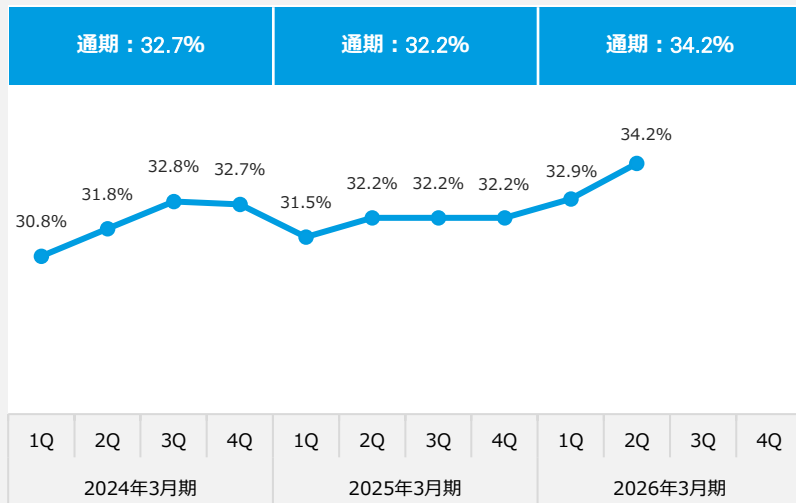
※単位は百万円

1. 連結業績 累計期間（2025年4月-2025年9月）

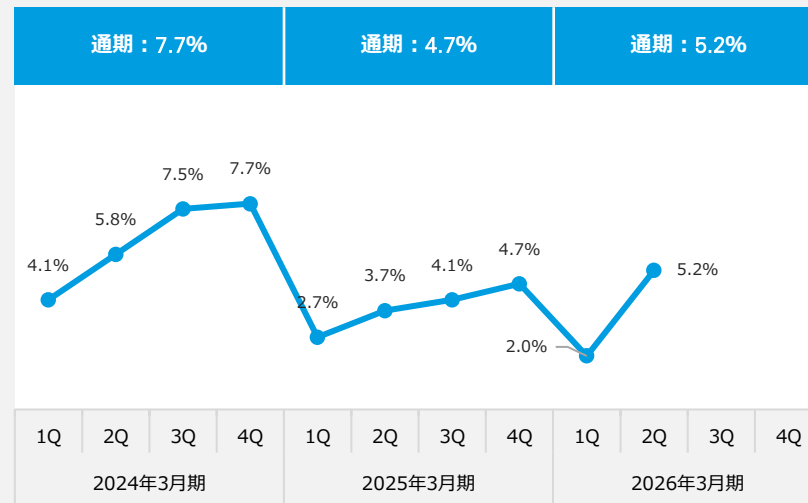
1.5 売上総利益率および営業利益率推移

プラットフォーム事業の伸長により売上総利益率が向上、加えてDXの効果浸透も進み販管費を抑制することができており、営業利益率も改善

売上総利益率推移（累計期間）



営業利益率推移（累計期間）



1. 連結業績 累計期間（2025年4月-2025年9月）

1.6 セグメント別業績サマリー

プラットフォーム事業の営業利益が大幅に伸長し、ポートフォリオの転換は順調に進行

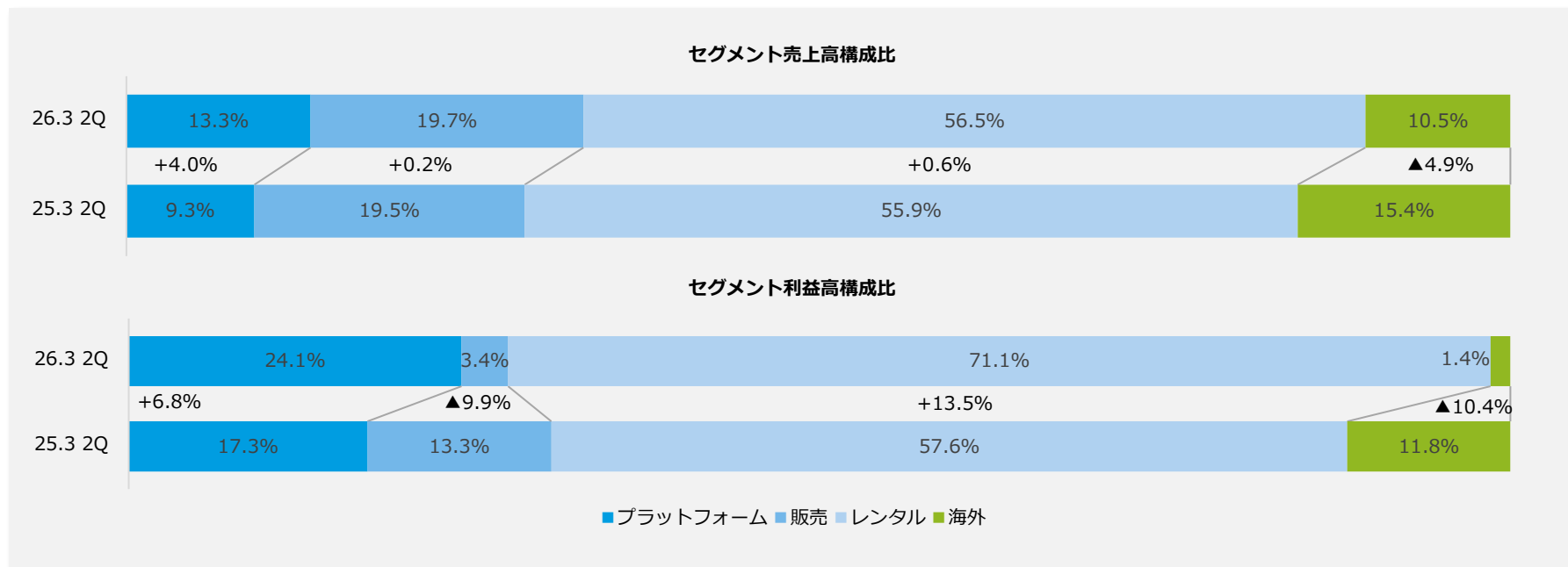
	セグメント売上高 実績			セグメント営業利益（営業利益率） 実績		
	25.3期 2Q	26.3期 2Q	前年同期比 増減率	25.3期 2Q	26.3期 2Q	前年同期比 増減率
プラットフォーム	2,191	3,068	+40.0%	388 (17.7%)	627 (20.5%)	+61.7%
販売	4,624	4,546	▲1.6%	297 (6.4%)	87 (1.9%)	▲70.6%
レンタル	13,223	13,027	▲1.4%	1,294 (9.8%)	1,852 (14.2%)	+43.1%
海外	3,637	2,415	▲33.6%	265 (7.3%)	37 (1.6%)	▲85.9%

※単位は百万円

1. 連結業績 累計期間（2025年4月-2025年9月）

1.7 セグメント構成比

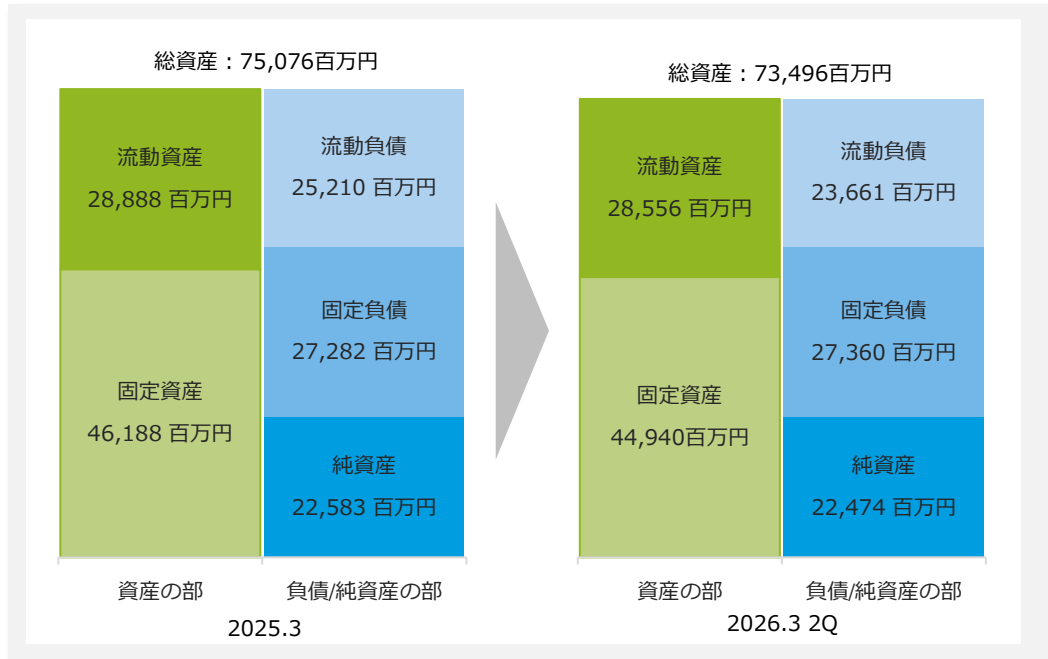
売上高・事業利益共にプラットフォーム事業が大幅に伸長し、ポートフォリオの転換は順調に進行



1. 連結業績 累計期間（2025年4月-2025年9月）

1.8 貸借対照表

ROIC経営を軸に、プラットフォーム事業の成長により資本効率が改善、総資産は1,580百万円減少し、73,496百万円に



	金額	前期末比較増減額
資産の部	73,496	▲1,580
流動資産	28,556	▲322
現金及び預金	8,304	▲540
棚卸資産	9,002	▲345
固定資産	44,940	▲1,248
賃貸資産（純額）	20,672	▲313
投資その他資産（その他）	1,485	▲461
負債の部	51,021	▲1,471
流動負債	23,661	▲1,549
支払手形及び買掛金	5,313	▲511
短期借入金	6,029	▲812
固定負債	27,360	+77
社債	4,350	▲352
長期借入金	20,283	+1,105
純資産の部	22,474	▲108
株主資本	21,223	+157

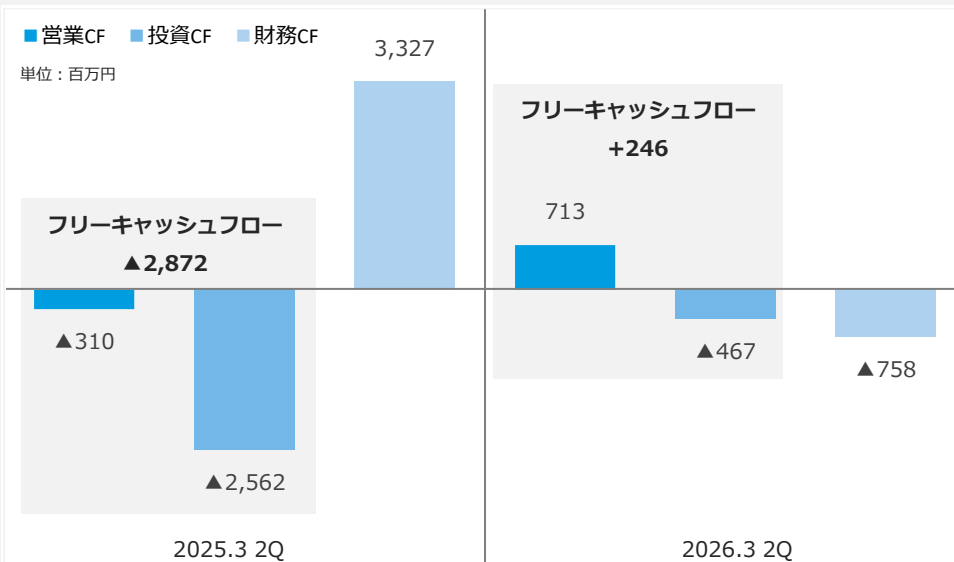
※貸借対照表の増減は主要科目のみ記載しております。

1. 連結業績 累計期間（2025年4月-2025年9月）

1.9 キャッシュフロー

プラットフォーム基盤の整備が進んだことで、3期ぶりにフリーキャッシュフローがプラスとなり、投資回収フェーズへと移行

キャッシュフロー区分推移

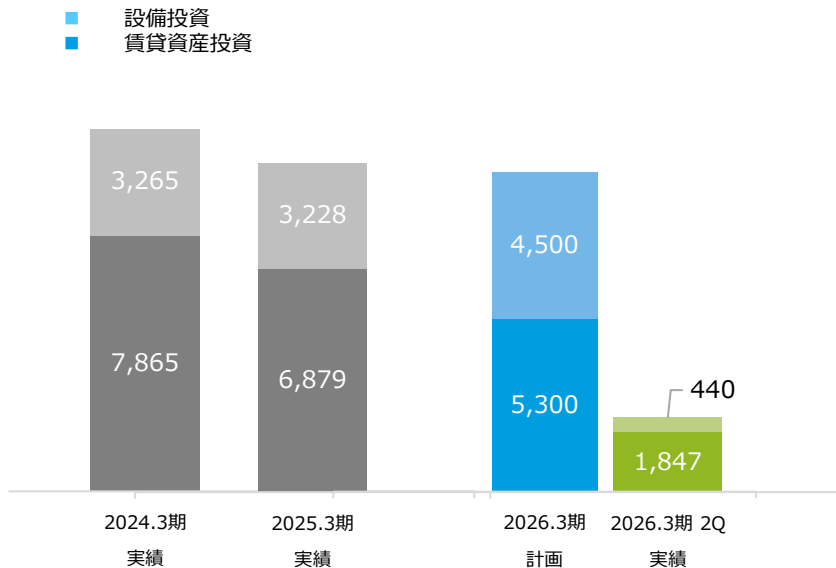


	2025.3 2Q	2026.3 2Q
税金等調整前純利益	634	995
営業CF	▲310	713
減価償却費	2,802	2,932
賃貸資産の取得による支出	▲1,051	▲1,127
棚卸資産の増減額（▲は増加）	▲3,620	▲812
投資CF	▲2,562	▲467
有形固定資産の取得による支出	▲2,347	▲496
財務CF	3,327	▲758
短期借入金の純増減額（▲は減少）	2,427	▲785
長期借入れによる収入	4,950	4,500
長期借入金の返済による支出	▲2,916	▲3,471
配当金の支払額	▲372	▲457
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	▲78
現金及び現金同等物の増減額	521	▲590
現金及び現金同等物の期首残高	7,460	8,524
現金及び現金同等物の期末残高	8,008	7,934

1. 連結業績 累計期間（2025年4月-2025年9月）

1.10 投資計画及び実績推移

計画に基づき、プラットフォームの機能拡充・DX推進に向けて各種投資を実行



投資方針

- ◆ Base
当社ソリューションの利便性を向上するために、工事が集中するエリア・利便性の高いエリアに開設予定。また既設のBaseの機能拡充に向けた投資も実行予定（北海道札幌Baseを建設中）
- ◆ Takamiya Lab.
当社ソリューションの開発・検証を行う施設（Takamiya Lab. East建設中）
- ◆ DX
当社ソリューションの利便性向上および、業務標準化による効率化を実現するための投資を実行。
- ◆ 賃貸資産
付加価値の高い製品を開発し、顧客へ提供。確かな供給力を保持するために、ポートフォリオを整備。

2Q累計 投資実績

- ◆ 賃貸資産
供給力向上に向けた賃貸資産投資を計画的に実行。破損分の補充も実行
- ◆ 設備投資
TAKAMIYA AGRIBUSINESS PARKにおける、ソリューション検証用のハウス棟を建設

※単位は百万円

セグメント情報

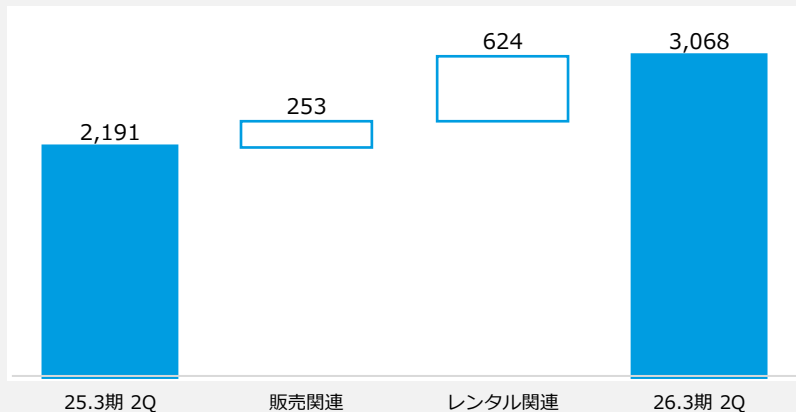
プラットフォーム事業

対前年同期比較増減要因

OPE-MANEのサービスメリットの浸透により、追加契約（販売）および付帯サービス利用の増加によりリカーリング収益が拡大

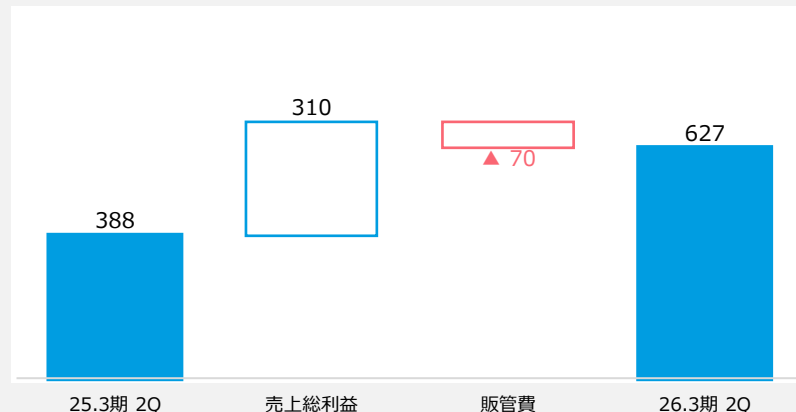
売上高 +877 百万円（前年同期比 +40.0%）

- OPE-MANEユーザーによるリカーリング収益の増加
- 客単価の向上および不足材レンタルが増加



営業利益 +239 百万円（前年同期比 +61.7%）

- サービスの利用が促進されたことにより売上総利益が増加
- ソリューションの整備にリソースを投下したことで販管費が増加



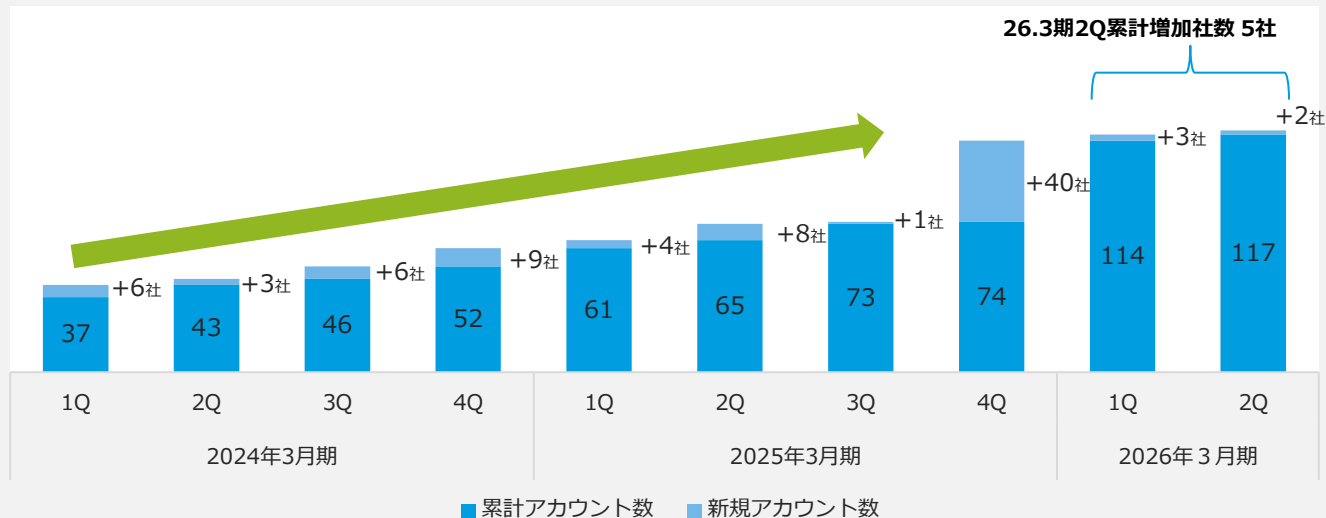
※単位は百万円

プラットフォーム事業

OPE-MANEアカウント数推移

翌年度の工事に備えて、OPE-MANE新規アカウントは期末に増加する傾向がある

OPE-MANEアカウント社数推移



累計OPE-MANEアカウント数

119 社

(2026.3期 2Q時点)

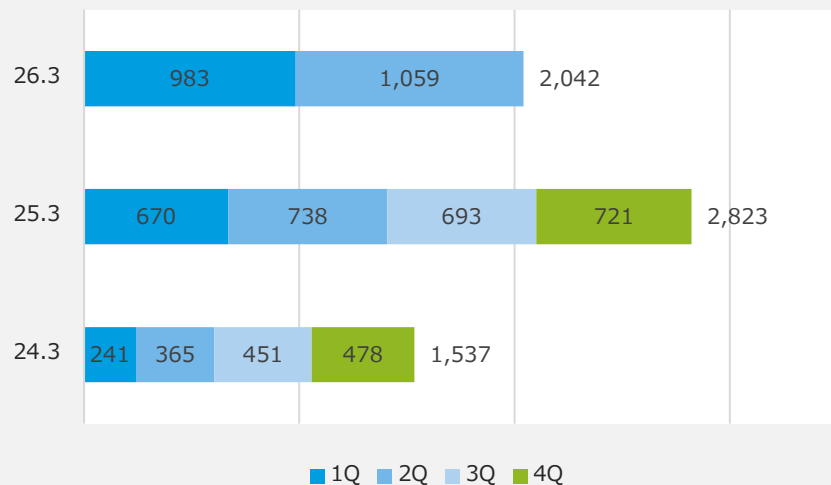
プラットフォーム事業

プラットフォーム事業売上構成

OPE-MANEユーザー数および販売契約高の増加に伴いリカーリング収益が着実に増加、販売は期末に増加傾向

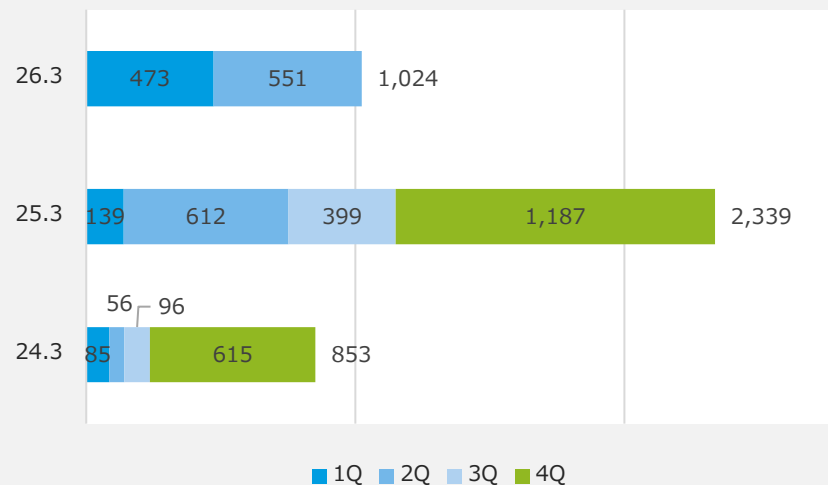
リカーリング収益（レンタル関連売上）

OPE-MANEユーザーによる、追加レンタル売上。
固定単価でのサービス提供であり、利益率が高い



OPE-MANE販売契約高（販売関連売上）

OPE-MANEサービスの利用を前提とした販売売上。
新規利用時および追加での販売時に発生。

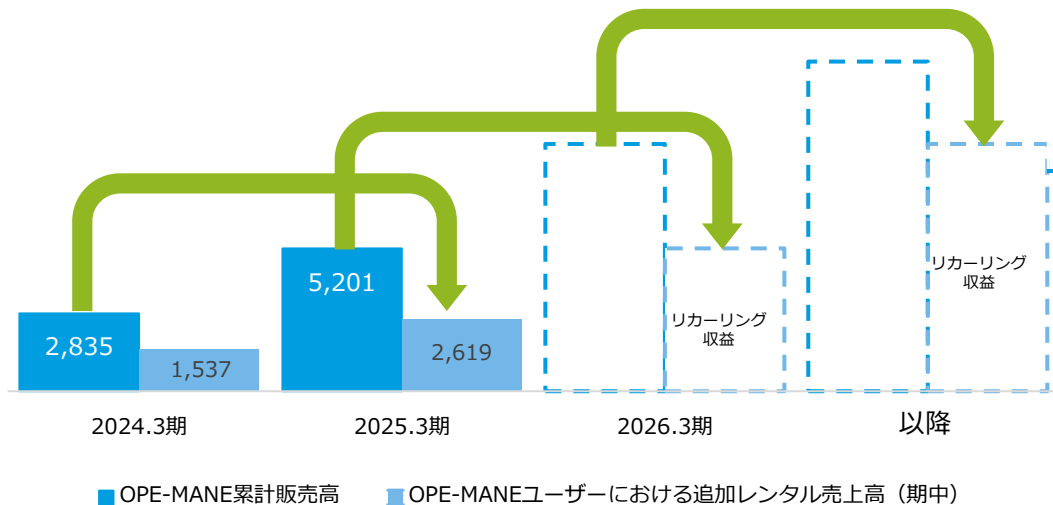


プラットフォーム事業

OPE-MANE販売契約高推移とOPE-MANEユーザーによるレンタル利用の推移

OPE-MANE販売契約高の増加に伴い、ユーザーによるレンタル収益（リカーリング収益）が増加
翌期には、前期までの累計販売契約高相当のレンタル収益が見込める

OPE-MANE累計販売契約高およびユーザーによるレンタル売上



OPE-MANEによるリカーリング収益の増加

2025年3月期累計販売契約高実績5,201百万円

2026年3月期には
前年までの累計販売契約高相当の
リカーリング収益が見込める

OPE-MANEのユーザー数および、累計の契約高が増加することで、周辺部材や不足材のレンタル利用が増加。
また、過不足においては、Iq-Bidを利用することで売買による調整が可能に。
→ OPE-MANEユーザーが継続して購入およびレンタルをするため、リカーリング収益が増加する。

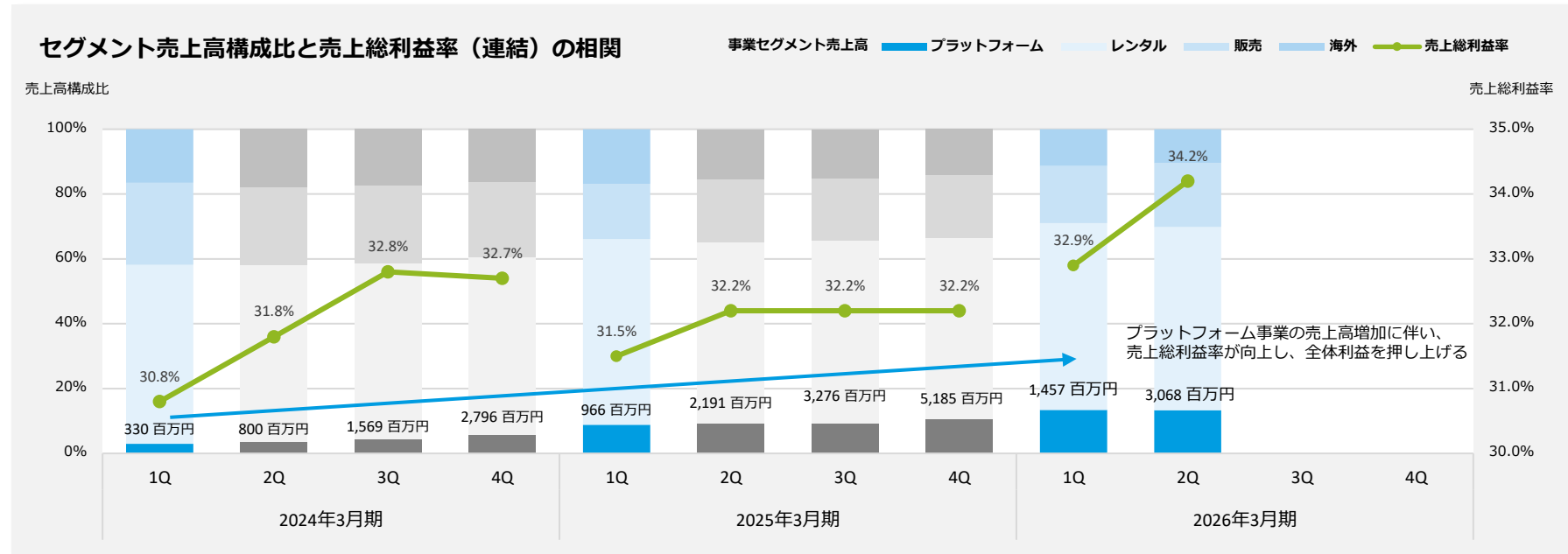
※OPE-MANEで利用するIqシステムは他の仮設機材と互換性がなく、Iqシステム以外と組み合わせて利用できないため。
また、レンタルは同一拠点からの出荷が可能に。

※単位は百万円

プラットフォーム事業

プラットフォーム事業と売上総利益率の相関

セグメント売上高構成比率において、プラットフォーム事業が占める割合の増加に伴い、売上高総利益率が向上



販売事業

対前年同期比較増減要因

人手不足による着工延期、建設コスト高騰の影響もあり、レンタルの利用傾向が強まる中、OPE-MANE利用の傾向も高まっており、従来の仮設機材購入からはシフト

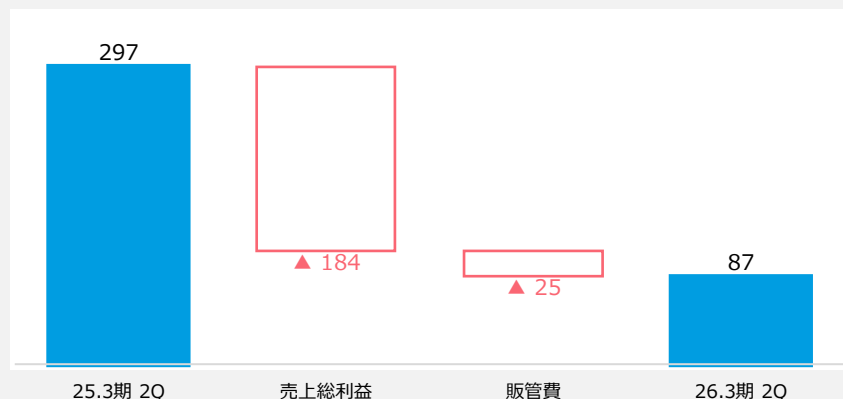
売上高 ▲77 百万円（前年同期比▲1.6%）

- 調達方法がOPE-MANEと従来のレンタルに偏り仮設機材販売は減収
- 中古品関連・環境関連の分野は昨年を上回る



営業利益 ▲210 百万円（前年同期比▲70.6%）

- 仮設関連の収益減少により、売上総利益が減少



※単位は百万円

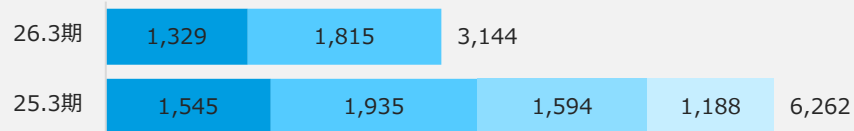
販売事業

分野別製品販売実績

OPE-MANEおよびレンタル調達の傾向が強まり、仮設関連は減収するも、足場の下取り販売は増加

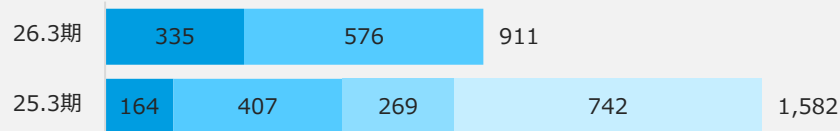
仮設関連

Iqシステムや吊り足場、支保工や汎用材を含む



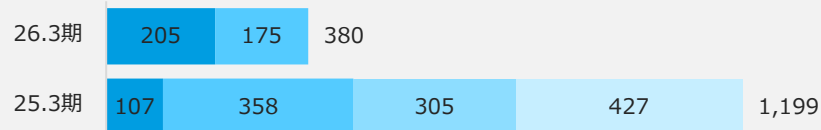
中古品

Iqシステム販売時に足場材を下取りして販売



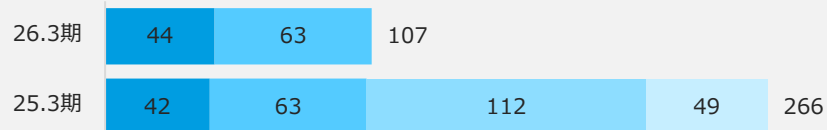
環境関連

アグリやPV製品の販売売上



建材・構造材

制震材や耐震材の販売



レンタル事業

対前年同期比較増減要因

プラットフォームサービスの普及に伴い、レンタル単価の改善が図られ、収益性が向上

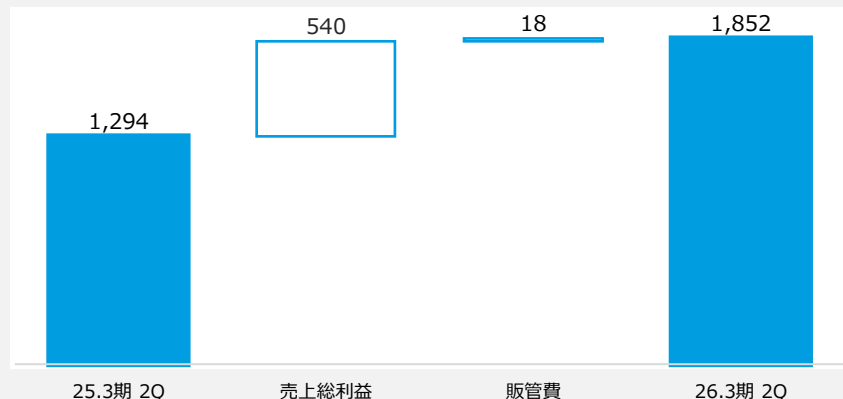
売上高 ▲196 百万円（前年同期比▲1.4%）

- 北海道新幹線関連工事を中心に建築土木の両分野で貸出量が増加
- 労働力不足の影響で一部工事の着工延期



営業利益 +558 百万円（前年同期比 +43.1%）

- 単価改定効果により、売上総利益率が向上
- 人的資本投資の実行により人件費が微増



※単位は百万円

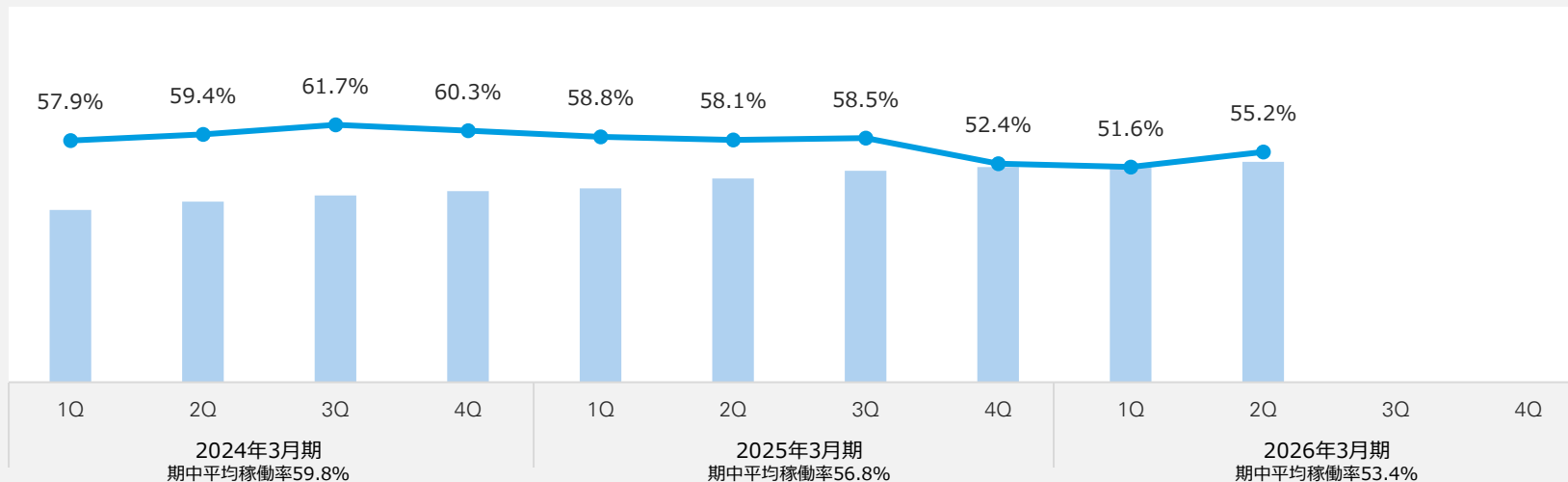
レンタル事業

賃貸資産稼働率推移

北海道新幹線関連工事などへの貸出が本格化したことで、前年同期比で貸出量は増加、賃貸資産保有量が増加したことで稼働率は前期を下回る

賃貸資産稼働率

賃貸資産保有量 稼働率



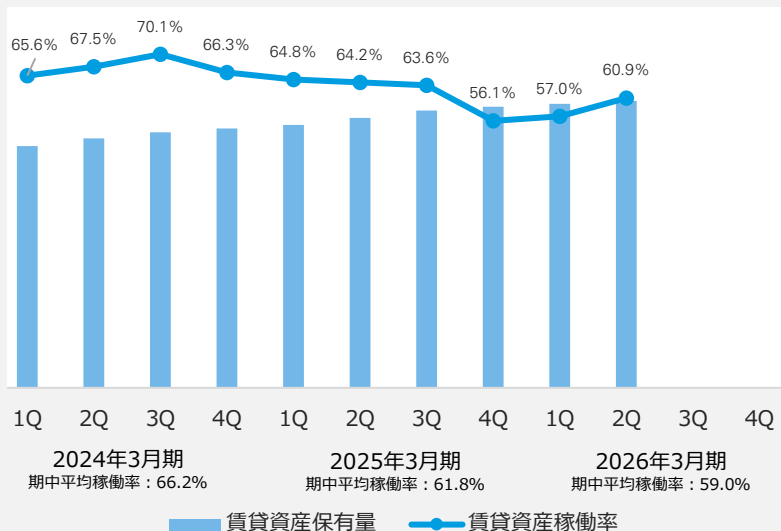
稼働率(%) = 貸出量 / 総保有量
 ※工事の終了時期となる4Qは賃貸資産の返却が増え、稼働率は減少する傾向がある

レンタル事業

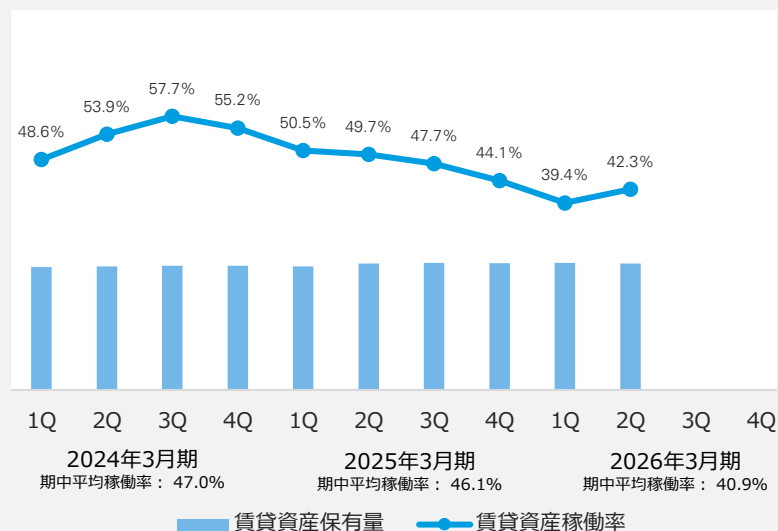
分野別賃貸資産稼働率推移

工事が本格化する時期に向けて稼働率が向上、保有量が増加したことで、稼働率は低下

建築関連賃貸資産稼働率



土木関連賃貸資産稼働率



稼働率(%) = 貸出量 / 総保有量
 ※ 工事の終了時期となる4Qは賃貸資産の返却が増え、稼働率は減少する傾向がある

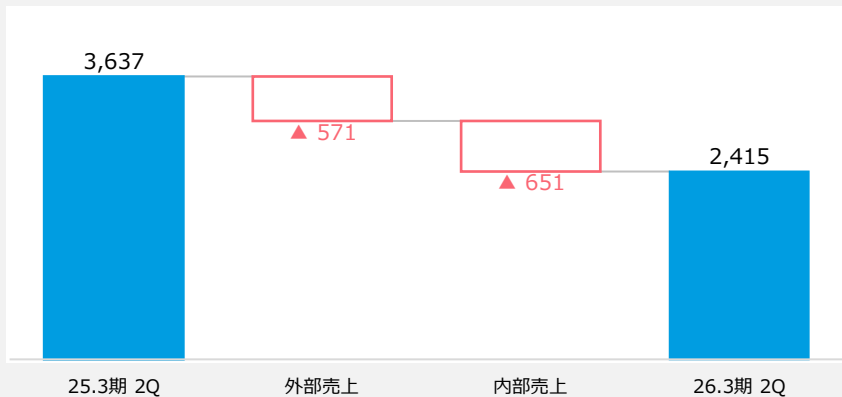
海外事業

対前年同期比較増減要因

日本国内の販売需要の低下と棚卸資産の状況を考慮し、海外子会社における製造活動を調整した結果、製造販売売上である内部売上が減少、加えて、市場環境の悪化により、韓国およびフィリピン子会社における外部売上也減少

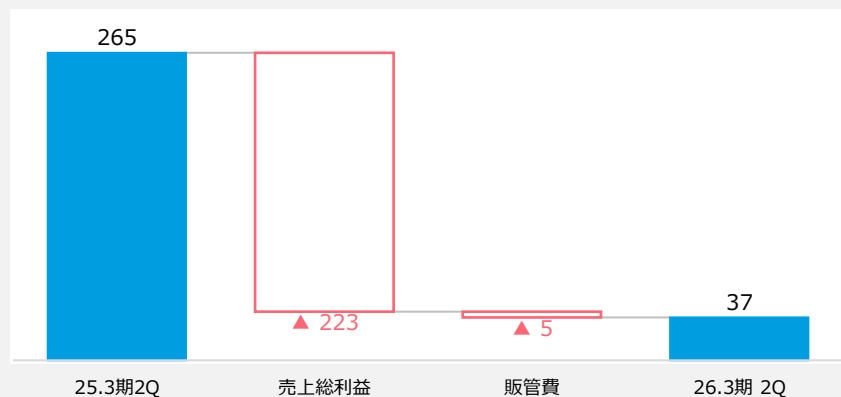
売上高 ▲1,222 百万円（前年同期比▲33.6%）

- 日本国内での販売が伸び悩んだため、グループ内売上は減少
- 韓国国内の経済不安や金利上昇などの影響により景気停滞し、建設投資が依然として低調に推移した結果、外部売上也減少



営業利益 ▲228 百万円（前年同期比 ▲85.9%）

- 減収により、売上総利益は減少
- 事業基盤の整備により、販管費が微増

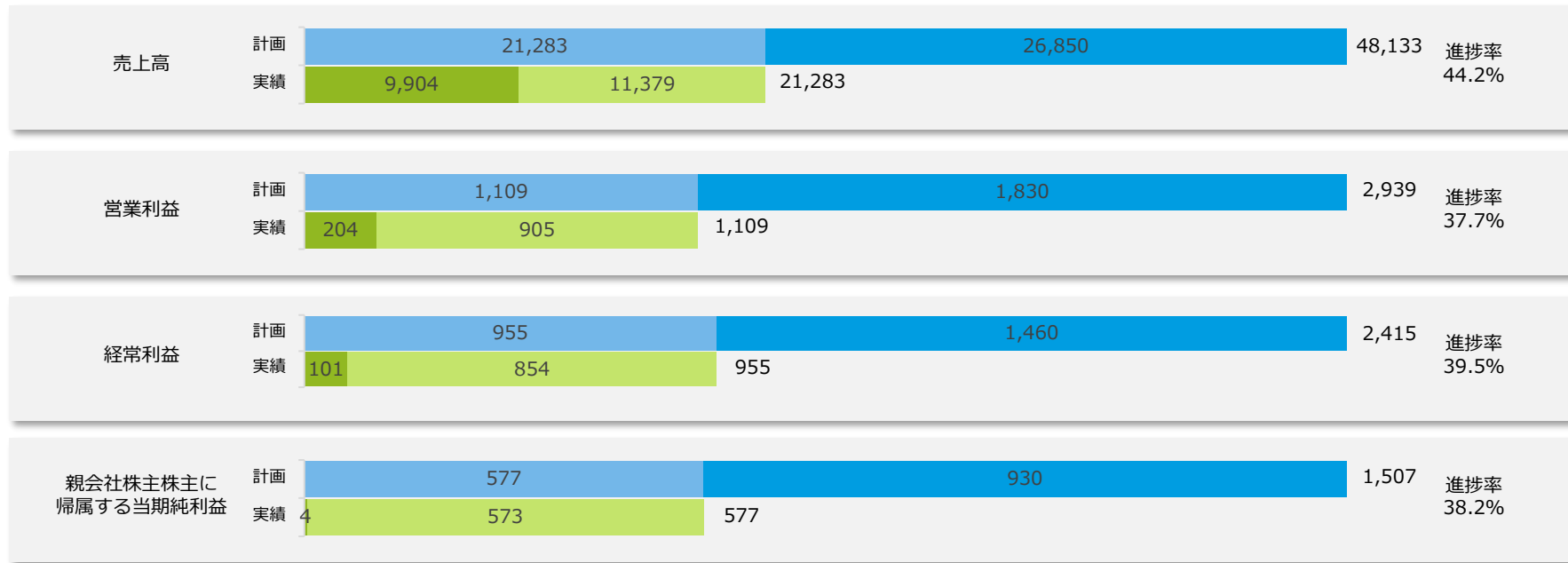


※単位は百万円

通期および今後の見通し

2026年3月期 業績計画進捗状況

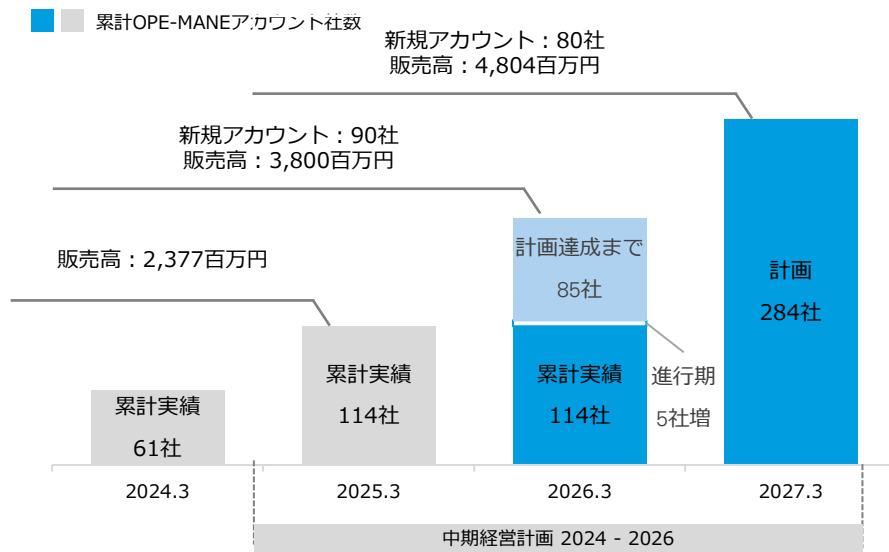
業績予想の修正により利益予想が大幅に伸長、工事が集中する下期に向けて、各段階利益が積みあがる見込み



プラットフォーム事業関連KPI

ソリューションであるOPE-MANEのアカウント数および販売高の増加により、リカーリング収益額の増加を目指す

OPE-MANEアカウント数推移および販売高



2027年3月期 プラットフォーム指標

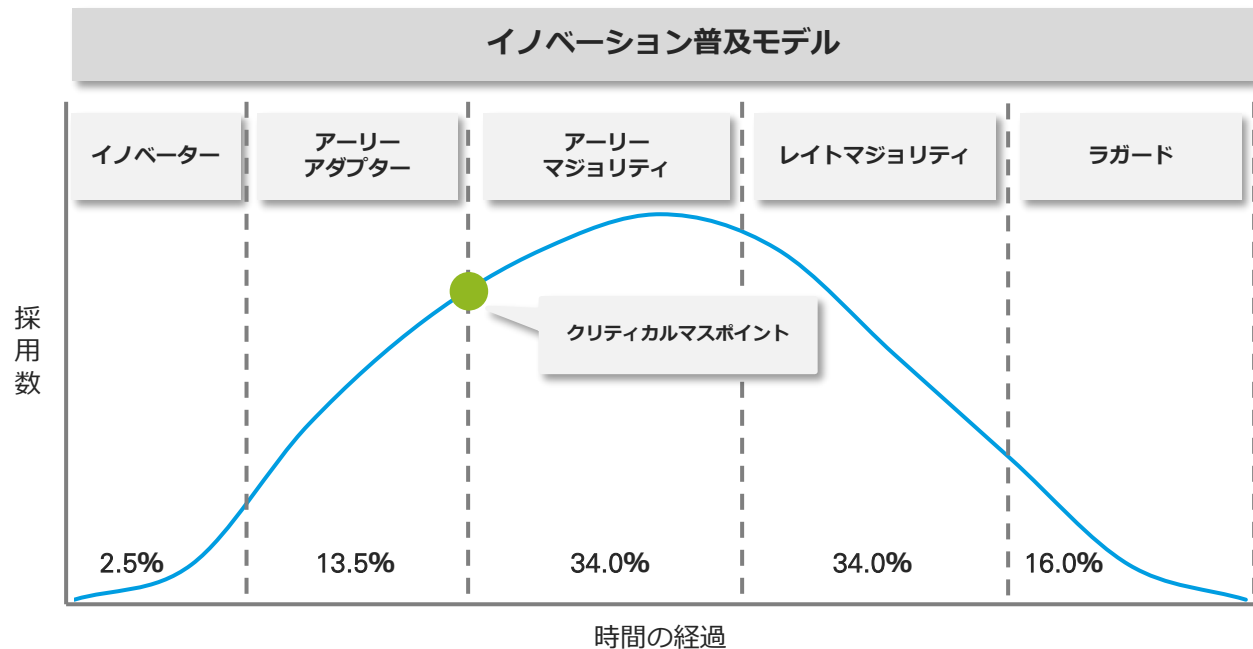
- ・ 累計OPE-MANEアカウント数 284社 (達成率41.9%)
- ・ OPE-MANE3カ年累計販売高 10,900百万円

アカウント社数および販売契約高の増加により、
リカーリング収益 (追加レンタル収益) を増加させ、ストックビジネスへの移行を推進

プラットフォームによるIqシステムのデファクトスタンダード戦略

Iqシステム普及状況

当社足場製品の普及が進み、クリティカルマスポイントを突破すれば、プラットフォームの普及は加速



足場市場

当社想定足場流通量

約 1 億 m^2



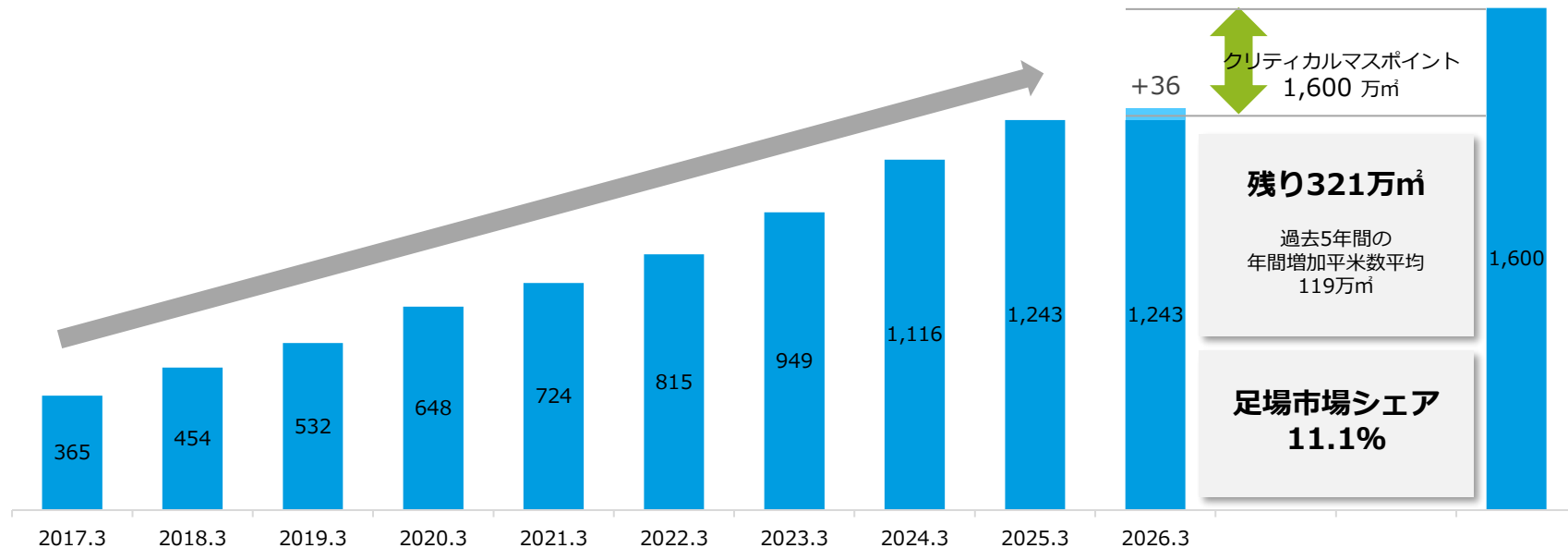
クリティカルマスポイント

1,600万 m^2

プラットフォームによるIqシステムのデファクトスタンダード戦略

Iqシステム普及状況

Iqシステム普及平米数（当社賃貸資産保有量＋販売実績） 累計普及平米数1,279万㎡



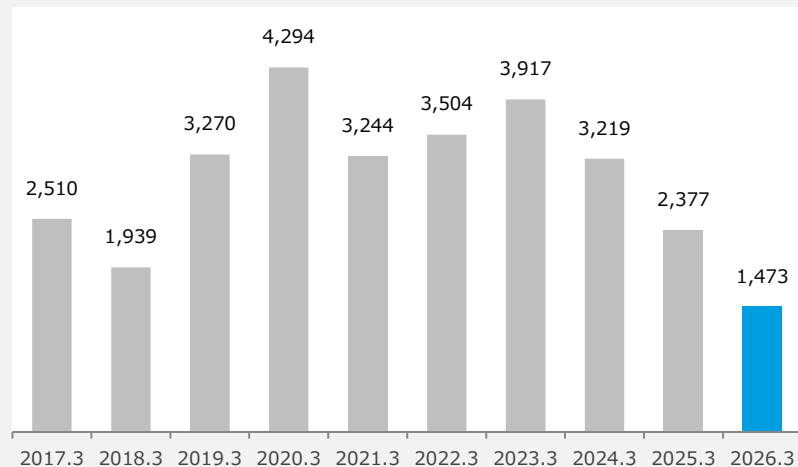
プラットフォームによるIqシステムのデファクトスタンダード戦略

Iqシステム普及状況

付加価値の高いサービスの開発により、新規および追加購入は増加傾向

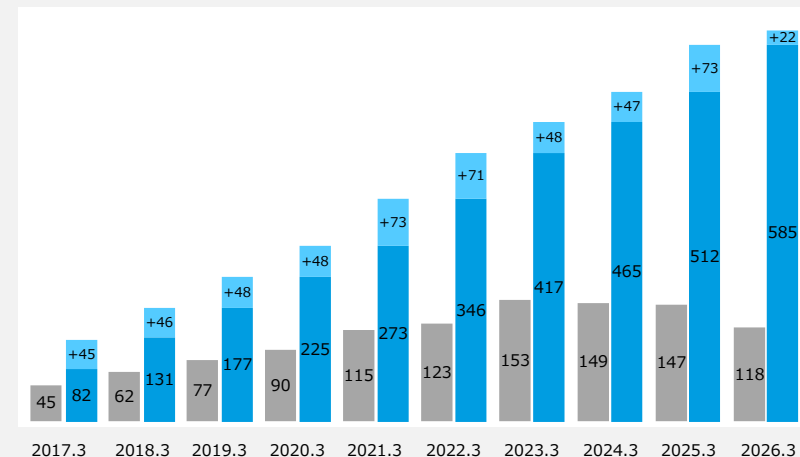
Iqシステム販売実績

累計販売額 **320** 億円



Iqシステム累計販売社

累計販売社数 **607** 社



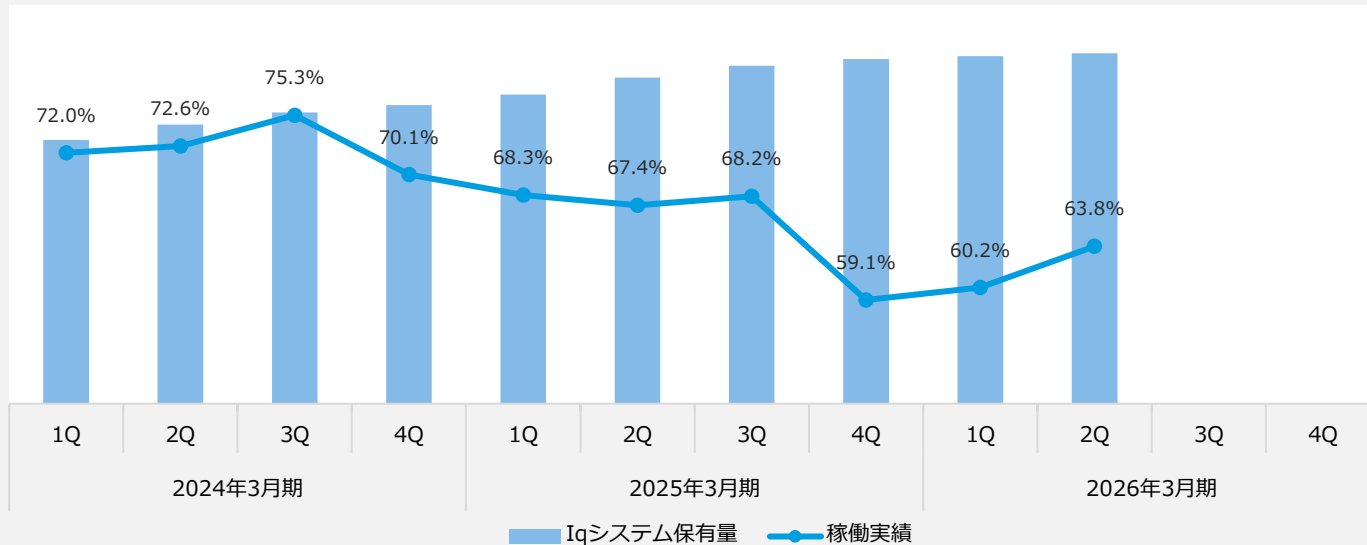
※単位は百万円

プラットフォームによるIqシステムのデファクトスタンダード戦略

Iqシステム普及状況

Iqシステム保有量の増加に伴い、前年同期比較で稼働率は低下するが、貸出量は増加傾向

賃貸資産稼働率



※稼働率 = 貸出量/保有資産

※稼働率のトレンドは例年3Qがピーク

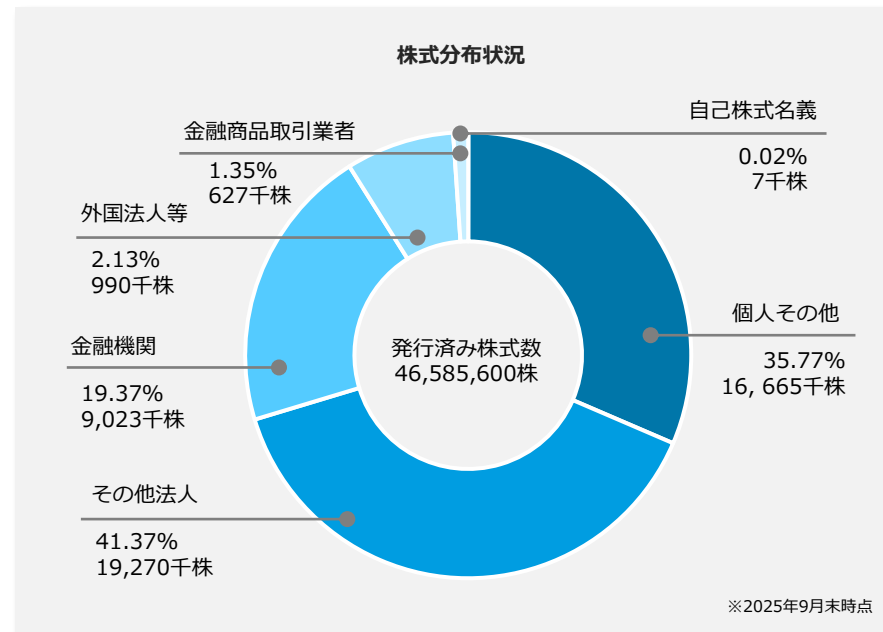
株式情報

株式情報

基本情報

株式情報

上場市場	東京証券取引所プライム市場
証券コード	2445
単元株数	100株
PER	14.40倍（2025年3月末日時点）
PBR	0.76倍（2025年9月末日時点）



株式情報

株主数・株主構成の推移

株主数は増加傾向にあり、個人株主の割合が増加

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末	2025年9月末
期末株主数	4,052 名	4,159名	4,704名	5,659名	7,491名
株式数構成					
政府及び地方公共団体	0.00 %	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
金融機関	22.12 %	20.67%	19.68%	20.95%	19.37%
金融商品取引業者	0.61 %	0.90%	1.29%	1.33%	1.35%
その他の法人	23.88 %	24.86%	32.21%	38.89%	41.37%
外国法人等	6.78 %	6.90%	9.67%	6.49%	2.13%
個人・その他	46.59 %	46.65%	37.15%	32.31%	35.77%
自己名義株式	0.02 %	0.02%	0.02%	0.02%	0.02%
内、投資信託設定株数	10.64 %	8.35%	7.89%	7.07%	6.65%
内、年金信託設定株数	0.68 %	1.07%	1.06%	1.04%	0.40%

株式情報

株主還元

配当政策は累進配当とし、配当性向は35%以上を維持、2026年3月期の配当予想は年間16円

配当予想実績



	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 予想
配当金額総額	652百万円	652百万円	652百万円	745百万円	-
配当性向	67.5%	44.6%	34.5%	60.0%	-
自社株買い	0百万円	0百万円	0百万円	362百万円	-
総還元性向	67.5%	44.6%	34.5%	89.9%	-
自己資本配当率 (配当性向×ROE)	3.5%	3.3%	3.1%	3.4%	-
ROE	5.2%	7.6%	9.1%	5.7%	-

株式情報

株価推移



参考資料

財務ハイライト

	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	2020.3期	2021.3期	2022.3期	2023.3期	2024.3期	2025.3期
売上高	32,443	34,261	34,350	36,763	36,114	42,182	46,055	38,812	39,800	41,894	44,127	43,827
売上総利益	9,832	10,856	11,291	10,991	10,431	12,132	14,014	10,996	11,181	12,587	14,428	14,123
販管費	6,781	7,758	8,307	8,561	8,740	9,418	10,311	9,410	9,499	10,334	11,023	12,061
営業利益 ①	3,051	3,098	2,983	2,429	1,690	2,713	3,703	1,586	1,682	2,253	3,404	2,061
経常利益	3,006	3,325	2,731	2,337	1,610	2,662	3,541	1,569	1,954	2,400	3,580	1,856
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,768	2,070	2,153	1,516	1,252	1,637	2,370	857	965	1,460	1,887	1,230
減価償却費(CF) ②	3,369	3,649	4,137	4,502	4,662	4,777	4,804	4,815	4,784	5,140	5,430	5,836
EBITDA (①+②)	6,421	6,747	7,120	6,932	6,353	7,491	8,508	6,402	6,466	7,393	8,835	7,897
ROE (株主資本利益率)	21.5%	19.8%	18.5%	12.6%	9.8%	12.0%	14.7%	4.7%	5.2%	7.6%	9.1%	5.7%
売上高純利益率	5.4%	6.0%	6.3%	4.1%	3.5%	3.9%	5.1%	2.2%	2.4%	3.4%	4.2%	2.8%
総資産回転率	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6
財務レバレッジ	3.9	3.8	4.3	4.3	4.0	3.8	3.5	3.2	3.1	3.0	3.2	3.4
ROA	8.4%	8.2%	5.8%	4.5%	3.1%	5.0%	6.2%	2.7%	3.4%	3.9%	5.4%	2.6%

※単位は百万円

財務ハイライト

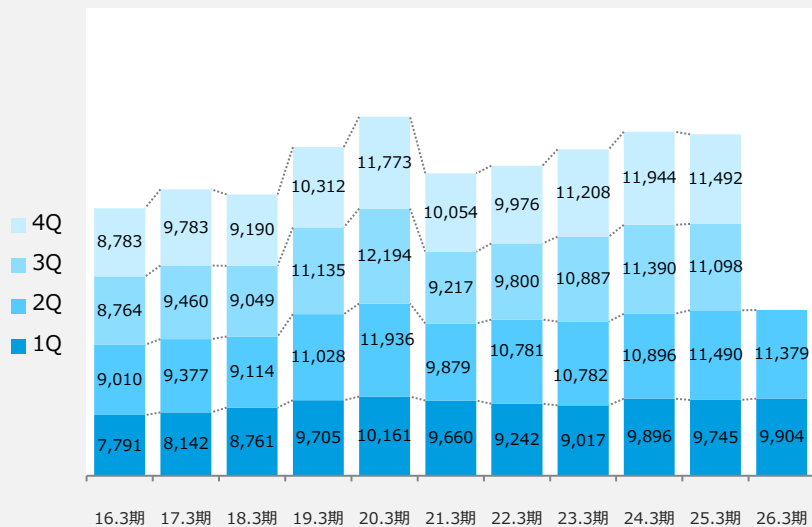
	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	2020.3期	2021.3期	2022.3期	2023.3期	2024.3期	2025.3期
流動資産	15,892	18,213	19,769	20,557	20,136	22,781	26,408	24,907	26,681	28,430	29,073	28,888
固定資産	21,353	25,307	30,321	32,203	32,677	31,632	32,873	31,547	32,399	34,318	39,871	46,188
流動負債	15,356	18,070	21,365	20,606	20,991	20,302	21,730	19,554	20,035	21,878	22,424	25,210
短期借入金	1,200	3,168	4,958	5,163	6,645	4,621	5,400	3,478	2,612	3,909	3,986	6,842
固定負債	12,130	13,687	16,628	19,454	18,269	19,535	19,054	18,131	19,708	20,349	24,363	27,282
長期借入金	9,376	10,913	13,304	15,403	13,653	13,495	11,823	11,354	11,942	12,253	14,742	19,177
純資産	9,758	11,762	12,097	12,699	13,552	14,575	18,497	18,768	19,337	20,522	22,157	22,583
総資産	37,245	43,520	50,091	52,760	52,813	54,414	59,282	56,454	59,081	62,749	68,945	75,076
	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	2020.3期	2021.3期	2022.3期	2023.3期	2024.3期	2025.3期
流動比率	103.5%	100.8%	92.5%	99.8%	95.1%	112.2%	121.5%	127.4%	133.2%	129.9%	129.6%	114.6%
固定比率	224.4%	221.0%	257.7%	261.0%	249.0%	223.2%	182.1%	172.8%	172.6%	172.9%	185.7%	210.7%
自己資本比率	25.5%	26.3%	23.5%	23.4%	25.0%	26.0%	30.5%	32.3%	31.8%	31.7%	31.1%	29.2%
D/Eレシオ	196.5%	188.9%	226.4%	237.4%	223.6%	205.5%	164.1%	151.3%	150.3%	151.5%	159.1%	188.0%

非財務ハイライト

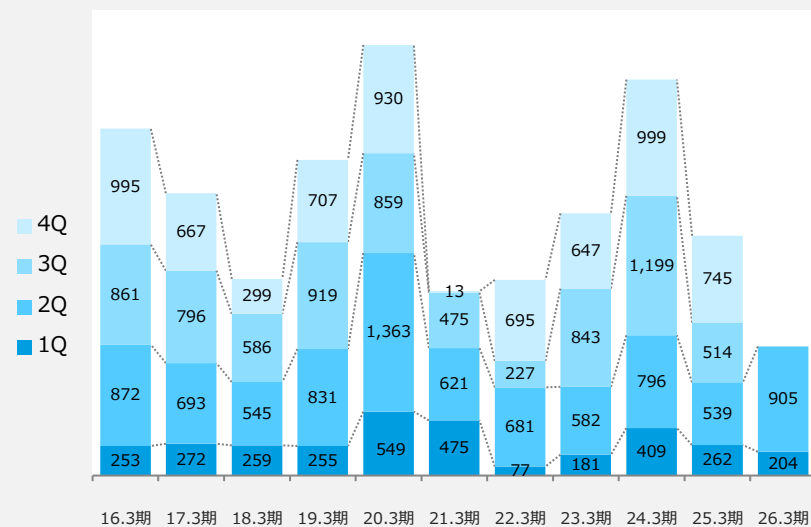
	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	2020.3期	2021.3期	2022.3期	2023.3期	2024.3期	2025.3期
従業員数（連結）（人）	903	979	1,010	1,144	1,204	1,298	1,221	1,222	1,266	1,327	1,392
女性比率（連結）（%）	-	-	-	31.8	30.8	32.3	34.9	36.3	33.1	35.3	34.9
外国籍比率（連結）（%）	-	-	-	22.3	21.8	25.4	22.6	27.1	25.1	22.0	22.5
新卒採用者数（単体）（人）	-	-	-	31	33	43	32	45	27	25	28
女性比率（単体）（%）	-	-	-	41.9	27.3	37.2	34.4	24.4	51.8	40.0	28.5
女性管理職者数（グループ）（人）	-	-	-	9	9	13	12	15	15	16	12
有給休暇取得率（単体）（%）	-	-	-	47.8	48.1	47.6	52.7	54.0	65.1	70.9	75.3
産休取得者数（単体）（人）	4	3	5	12	7	12	7	16	12	13	8
育休取得者数（単体）（人）	8	8	6	15	20	11	7	23	17	19	20
育児短縮勤務取得者数（単体）（人）	0	3	7	7	11	12	11	19	27	30	23
平均勤続年数（単体）（年）	9.27	9.21	9.36	9.47	9.47	9.61	10.22	10.45	10.62	10.50	10.78
離職率（単体）（%）	6.0	6.6	7.7	8.2	7.8	6.9	6.5	6.2	6.5	7.9	7.8
事故件数（単体）（件）	0	0	0	2	1	1	1	2	1	2	1
障がい者雇用人数（単体）（人）	-	-	-	8	11	12	12	16	18	17	19
障がい者雇用率（単体）（%）	-	-	-	1.38	1.85	1.63	1.79	2.20	2.08	2.00	2.15
GHG排出量（t-CO2）	-	-	-	-	-	-	2,954	3,014	3,475	3,688	3,770

業績推移

四半期売上高推移 (単位：百万円)

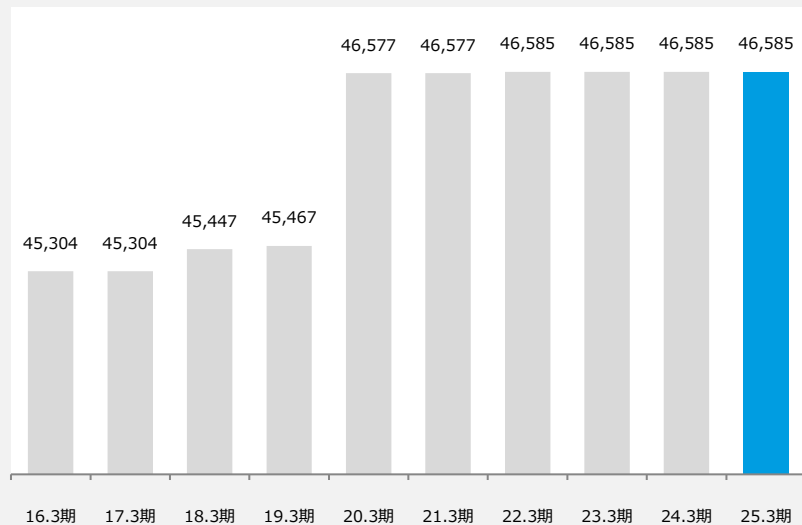


四半期営業利益推移 (単位：百万円)

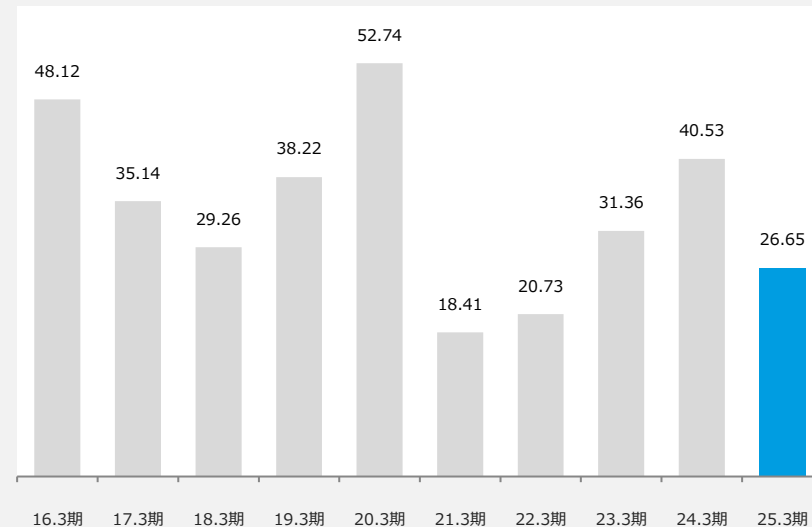


発行済み株式数・1株当たり利益（EPS）推移

発行済み株式の推移（単位：1,000株）



一株当たり当期純利益（EPS）の推移（単位：円）



セグメント別実績 四半期推移 累計期間

		2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
プラットフォーム事業	セグメント売上高	330	800	1,569	2,796	966	2,191	3,276	5,184	1,456	3,068		
	内、外部売上	330	800	1,569	2,796	966	2,191	3,276	5,184	1,456	3,068		
	セグメント利益	▲40	▲19	215	576	110	388	619	1,205	276	627		
	セグメント利益率	▲12.3%	▲2.4%	13.7%	20.6%	11.4%	17.7%	18.9%	23.2%	19.0%	20.5%		
	(対前年増減率)セグメント売上高	-	-	-	-	+192.7%	+173.8%	+108.8%	+85.4%	+50.8%	+40.0%		
		セグメント利益	-	-	-	-	-	+187.5%	+109.2%	+150.9%	+61.7%		
販売事業	セグメント売上高	2,806	5,545	8,542	11,338	1,859	4,624	6,905	9,313	1,914	4,546		
	内、外部売上	2,751	5,481	8,462	11,228	1,838	4,470	6,632	8,937	1,872	4,460		
	セグメント利益	317	589	1,001	1,290	74	297	287	270	▲35	87		
	セグメント利益率	11.3%	10.6%	11.7%	11.4%	4.0%	6.4%	4.2%	2.9%	▲1.8%	1.9%		
	(対前年増減率)セグメント売上高	-	-	-	-	▲33.7%	▲16.6%	▲19.2%	▲17.9%	+2.9%	▲1.6%		
		セグメント利益	-	-	-	▲76.6%	▲49.5%	▲71.3%	▲79.0%	-	▲70.6%		
レンタル事業	セグメント売上高	6,112	12,639	19,429	26,705	6,280	13,223	20,409	27,087	6,256	13,027		
	内、外部売上	6,097	12,603	19,367	26,615	6,209	13,102	20,230	26,843	6,168	12,854		
	セグメント利益	650	1,617	2,667	3,654	575	1,294	2,309	3,214	669	1,852		
	セグメント利益率	10.6%	12.8%	13.7%	13.7%	9.2%	9.8%	11.3%	11.9%	10.7%	14.2%		
	(対前年増減率)セグメント売上高	-	-	-	-	+2.8%	+4.6%	+5.0%	+1.4%	▲0.4%	▲1.4%		
		セグメント利益	-	-	-	▲11.5%	▲20.0%	▲13.4%	▲12.0%	+16.3%	+43.1%		
海外事業	セグメント売上高	1,824	4,130	6,192	7,897	1,855	3,637	5,439	6,868	1,226	2,415		
	内、外部売上	717	1,907	2,784	3,488	732	1,471	2,196	2,861	406	900		
	セグメント利益	40	211	328	320	140	265	338	347	43	37		
	セグメント利益率	2.2%	5.1%	5.3%	4.1%	7.6%	7.3%	6.2%	5.1%	3.5%	1.6%		
	(対前年増減率)セグメント売上高	▲10.7%	▲7.4%	▲8.5%	▲12.1%	1.7%	▲11.9%	▲12.2%	▲13.0%	▲33.9%	▲33.6%		
		セグメント利益	▲61.9%	▲2.9%	+0.1%	▲20.7%	+248.0%	+25.5%	+3.0%	▲69.4%	▲85.9%		
		売上高合計	11,073	23,116	35,734	48,738	10,962	23,676	36,030	48,453	10,854	23,057	
		内、外部売上	9,896	20,792	32,183	44,127	9,745	21,236	32,335	43,827	9,904	21,283	

※単位は百万円

セグメント別実績 四半期推移 会計期間

		2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
プラットフォーム事業	セグメント売上高	330	470	769	1,226	966	1,224	1,085	1,908	1,456	1,612		
	内、外部売上	330	470	769	1,226	966	1,224	1,085	1,908	1,456	1,612		
	セグメント利益	▲40	21	235	360	110	278	231	585	276	351		
	セグメント利益率	▲12.3%	4.5%	30.6%	29.4%	11.4%	22.7%	21.3%	30.7%	19.0%	21.7%		
	(対前年増減率)セグメント売上高	-	-	-	-	+192.7%	+160.6%	+41.1%	+55.5%	+50.8%	31.6%		
		セグメント利益	-	-	-	-	+1,214.2%	▲1.6%	+62.4%	+150.9%	26.2%		
販売事業	セグメント売上高	2,806	2,739	2,996	2,795	1,859	2,764	2,281	2,407	1,914	2,632		
	内、外部売上	2,751	2,729	2,980	2,766	1,838	2,632	2,162	2,305	1,872	2,588		
	セグメント利益	317	271	411	289	74	223	▲10	▲16	▲35	122		
	セグメント利益率	11.3%	9.9%	13.7%	10.4%	4.0%	8.1%	-	-	▲1.8%	4.6%		
	(対前年増減率)セグメント売上高	-	-	-	-	▲33.7%	+0.9%	▲23.9%	▲13.9%	+2.9%	▲4.7%		
		セグメント利益	-	-	-	▲76.6%	▲17.7%	-	-	-	▲45.2%		
レンタル事業	セグメント売上高	6,112	6,527	6,789	7,276	6,280	6,942	7,186	6,677	6,256	6,771		
	内、外部売上	6,097	6,506	6,764	7,247	6,209	6,893	7,128	6,613	6,168	6,686		
	セグメント利益	650	967	1,049	987	575	718	1,014	905	669	1,183		
	セグメント利益率	10.6%	14.8%	15.5%	13.6%	9.2%	10.3%	14.1%	13.5%	10.7%	17.4%		
	(対前年増減率)セグメント売上高	-	-	-	-	+2.8%	+6.4%	+5.8%	▲8.2%	▲0.4%	▲2.4%		
		セグメント利益	-	-	-	▲11.5%	▲25.7%	▲3.3%	▲8.3%	+16.3%	+64.7%		
海外事業	セグメント売上高	1,824	2,305	2,061	1,705	1,855	1,781	1,801	1,429	1,226	1,189		
	内、外部売上	717	1,189	876	703	732	739	725	665	406	494		
	セグメント利益	40	171	116	▲7	140	125	72	9	43	▲6		
	セグメント利益率	2.2%	7.4%	5.6%	▲0.4%	7.6%	7.0%	4.0%	0.6%	3.5%	▲0.5%		
	(対前年増減率)セグメント売上高	▲10.7%	▲4.7%	▲10.8%	▲23.0%	1.7%	▲22.7%	▲12.6%	▲16.2%	▲33.9%	▲33.1%		
		セグメント利益	▲61.9%	+52.7%	+6.2%	-	+248.0%	▲27.0%	▲37.8%	-	▲69.4%	-	
		売上高合計	11,073	12,042	12,617	13,004	10,962	12,714	12,354	12,422	10,854	12,203	
		内、外部売上	9,896	10,896	11,390	11,944	9,745	11,491	11,100	11,491	9,904	11,379	

※単位は百万円

IRコンタクト

社名 : 株式会社タカミヤ

住所 : 〒530-0011
大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪 タワーB 27階

HP : <https://corp.takamiya.co/>

IRサイト : <https://corp.takamiya.co/ir/>

TEL : 06-6375-3918

FAX : 06-6375-8827

担当者 : 経営戦略本部 経営企画室 松本・浦

メール : ir@takamiya.co

ホームページ



IRサイト



本資料は、当社グループに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。